

「みがき合い、支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒」 ＜2月の学校経営方針＞

【「成果と課題」の共有】…ステップアップのための22項目の評価！

1月に提示した22項目の取り組みに対する評価をしていきたい。意識して取り組んだことや次年度に持ち越す課題を明確にしていきたい。目標を掲げてその実現のための手立てや情報を共有せず、実践や評価もなされなければ学校運営は停滞する。何のために取り組んでいるのかを意識し、評価することで、最初に描いたゴールとのズレや今後の進むべき方向が見えるようになる。2月は、今年度の教育活動の成果と課題を明確していきたい。それは、目指すこととできることの意識をもつことである。当然のことではあるが、目指すこととは、今できていることではなく、できていないことである。それができるようになった時に、達成感や有用感、共同意識が生まれるのである。

「白山ブランド」の構築のために

- (1) 授業改革（主体的・対話的で深い学び）
 - ① 「？」で投げかける問題解決…主体的な問題解決型授業を推進するため
 - ② 最初からグループ…対話的な学びを進める学習環境づくりのため
 - ③ 評価問題に取り組む…生徒自身による認知のため
- (2) 心の教育（道徳、いじめ、生命、思いやり）
 - ④ 班活動を組織…協働のため
 - ⑤ 人間関係づくりのスキル練習…いじめのない環境づくりのため
 - ⑥ 徳目を意識したテーマを設定…道徳的な実践力を高めるため
- (3) 安全安心（健康・体力向上、メンタル、防災、食育等）
 - ⑦ 放課後活動への声掛け…教員のチーム力を高めるため
 - ⑧ 適応教室の運営を振り返り…長欠解消に向けた意識を高めるため
 - ⑨ 「いじめゼロ」と積極的な生徒指導の推進…人間関係づくりを深めるため
- (4) 生徒主体（行事、生徒会、部活）
 - ⑩ 部会活動を中心…課題解決型の委員会活動を推進するため
 - ⑪ 具体的な立案に着手…現状を再認識し、原因を明確に捉えた改善案を作成するため
 - ⑫ 達成度を意識した取り組み…部活動でのPDCAサイクルの意識を高めるため
- (5) 三大伝統（挨拶、歌声、清掃）
 - ⑬ 「明るく元気な挨拶」→挨拶ができる学校…心を開くため
 - ⑭ 「美しく響く歌声」→送る会・卒業式を意識…心をひとつにするため
 - ⑮ 「心を磨く清掃」→「無言清掃」のねらいに迫る…清掃の意識を高めるため

「研究と課題」のために

- ⑯ 教科化に対する準備を…道徳の教科化に対する意識を高めるため
- ⑰ 研究テーマや研究仮説を検討…教員のスキル向上のため
- ⑱ 次年度の研修計画の立案…若手のスキル向上に対する意識を高めるため

「連携推進」のために

- ⑲ グランドデザイン（案）を提示…小中一貫の基本的な考えを共有するため
- ⑳ 校内ボランティアのニーズ…地域資源を活用するため
- ㉑ お礼と結果報告を地域発信…多くの方々の理解と支援を意識するため
- ㉒ HPや学校便り等で配信…学校での取り組みを共有し、共感してもらうため